

## ■■■今回からの君たちへ■■■

『コミケットに初参加するなら冬からがいい』とはコミケットに行ってみたい、というビギナーさんに対してよく言われることだ。実際、夏の暑さはどうしようもないが、冬の寒さは対処次第で大分緩和できるので、どちらが比較的楽かという話なら冬コミだ。

というわけで、晴れて今回からコミケット参加者に加わろうというアナタのために基本に立ち還ってコミケット参加のイロハをお届けしよう。

(現在最新事情を反映したもので、ベテランの皆さんも今後新しく参加しようという人にアドバイスをする際の参考にして頂ければ幸いです)

### ■これだけは知っとこう基本のキホン■

#### 『1』一般参加者という立場

散々言われていることなので聞いたことがあるかもしれないが、コミケットに居る数十万人の人々は全員が『参加者』という立場である。

他に例がないので最初は理解しにくい概念だが、とにかくコミケット会場の全員、目に見える範囲に居る売ってる人も買ってる人もスタッフも、施設職員やガードマンなどを除く**全員が、まずは『コミケット参加者』という共通の立場**であり、その上で『サークル参加者』『スタッフ』『一般参加者』『企業参加者』という区分に分かれている。そしてアナタは、その中の『一般参加者』の1人、ということになる。

では他のあらゆるイベントでの『お客さん』と、コミケットの『参加者』はどう違うのだろうか？

それはアナタ自身からコミケットは利益を得ていない、という点と、コミケットは数十万の参加者**全体でルールをきちんと守ることで初めて開催可能**になっているイベントだ、ということだ。

だからコミケットでは『お金を払ってる自分はお客様だぞ』というお客さんにはなれないし、参加する以上はアナタもコミケットを**無事に運営するメンバーの一人として、ルールを知った上で、それを守ることが要求される**。知らなかった、では参加者失格なのだ。

まずは冊子版／ROM版／Web版どれかのカタログをよく読んで、基本ルールを理解しよう。



#### 『3』ロングタイム・ウェイト

コミケットでは往々にして待機時間が発生する。朝開場前に入場待機列に並び、入場したらお目当てのサークルや企業の前に並び、その合間にトイレやコンビニのレジでも並び。

未明04:30の待機列形成時間から入場まででは最長5.5時間も待機しなくてはならない。

待機場所のほとんどは吹きさらしの屋外なので、当然寒い。未明から入場待機列に並んだら一番冷え込みの厳しい夜明け直前の時間帯を屋外で過ごさねばならないわけで、相応の重装備をし、飲み物食べ物時間つぶしを考えて行かなくては到底耐えられない。この記事の冒頭にあるやたら大げさな寒さ対策はそういった場合に必要になるのだ。

しかし、何も全参加者がこの行列に並び必要はない。これらの行列は、少しでも早く入場し、少しでも多くのサークルを回ろう、有名な企業や大手サークルのアイテムを手に入れようとする参加者たちの作るものだ(多くの初参加者の目的も、最初はそういった有名なグッズやアイテムだろう)。

しかしコミケットには、そういったごく一部の著名なアイテム以外にも数万に及び様々なサークルが作った数えきれない程の作品が**出展**されている。

全エネルギーを有名所に懸けるのもひとつの青春だが、まさかこんな本があるとは!といった『俺得』探しの楽しさもまた、高いサークル密度を持つコミケットならではのものだ。そういった自分なりの楽しみを見つけ出すことで、闇雲に早く行き、行列しなくても良くなる参加スタイルもあると知ってほしい。

ちなみに、**現状入場オペレーションの進化によって、入場待機列に04:30から並んでも会場後の10:00過ぎに並んでも、会場に入れる時間には1時間強ほどの差しか生じない。**

その分体力を温存してゆっくり参加することで、本来活動力が必要な会期時間中をフル稼働できるという遅参のメリットもある。『とにかく並び』がコミケットの絶対条件ではないことは理解しておこう。